

# Vascular Street



## 福岡大学医学部心臓・血管内科学 朔 啓二郎 主任教授退任記念祝賀会

2017年3月25日



皆さん、17年間、本当にありがとうございました。

4月から心臓・血管内科学を離れ、医学部総合医学研究センターへ移籍します。

朔 啓二郎



皆さん、本日は遠くから、また年度末のお忙しい中、私の主任教授退任パーティに来ていただきましてありがとうございます。福岡大学医学部の規則により65歳になりますと主任教授はおおり、最近の先生方は定年が65歳ですが、私の定年は70歳ですので、後5年あります。また、医学部長は4月からも継続しますので、主には医学部長室にいると考えます。

まず、福岡の医師会の先生方、開業の先生方に心から御礼申し上げます。循環器内科、毎年20億の医療収益がありますが、この17年間、先生方のサポートで成り立ってきました。地域の先生方から、スターのように取り扱っていただきました。福岡大学の心臓・血管内科学の教授になりたいと誰もが思う雰囲気を作っていただきました。心から感謝申し上げます。また、私が頑張ってきたのも学会の先生方のおかげです。今日もご夫婦でおいでいただきました鄭教授、今泉教授、九州大学の砂川教授、熊本大学の前の教授である小川久雄先生、小川先生は現在、国立循環器病研究センターの理事長として国の循環器病を動かす存在ですが、そのような方々から、日本循環器学会、日本心臓病学会の理事に選出していただきました。福岡大学の教授に、このようなチャンスは従来なかったのですが、日循は九州の支部長までさせていただきました。選挙で1500票くらいとらないとなれないポジションですが、先生方のサポートのおかげです。また、同窓会、同門会の先生方、医局員の方々、医学部・病院の職員の方々、私のわがままを聞いていただきまして、また、今日のようなパーティを開いていただきましたこと心から御礼申し上げます。

せつかくの機会ですので、少しお話をさせていただきます。私は、昭和27年生まれで、兄と妹がおります。父は九州大学を卒業して戦争に行き、第1内科で循環器を専門にして、博多区竹下で開業しておりました。父が循環器だったので私もそれを選択したのかもしれませんが。幼稚園の時、白血病と言われ、九大の小児科にかかっていたのですが、長期生存例です。昭和47年に福岡大学医学部第1回生として入学しました。いろんな人に励まされやっとな入学式に行った覚えがあります。今年の福岡大学医学部志願者は昨年より320名増えまして、一般入試の競争率が44～45倍ですが、当時は、福大の医学部はまだ市民権が得られてなかった時代です。しかし、入学しますと大変すばらしい方がたくさんいました。同級生に救われたものがあります。今日もたくさんの当時の同級生に来ていただきました。学生時代は医学の勉強をする、これは誰にも負けたくないと思っていたので、本当に勉強したと思います。4年生特待生、5年生特待生、6年生特待生、卒業時も卒業生総代になりました。別に、自慢しているわけではありません(笑)。今となって明確に記憶にあるのはこのエビデンスです。また、循環器内科はトップの連中が入局することになってますが、私にとってそれも大きくプラスになりました。優秀な医局員がいるからです。昭和53年に福岡大学医学部卒業後、2年間の研修を経て、結婚しました。錦と申します。すべて

女房のおかげです。4年間米国オハイオ州シンシナティの小さなクリニックで働いておりました。その時の先生、Kashyap 教授ですが、素晴らしい方でした。グラントの取り方、論文の書き方、毎日の病棟のラウンド、毎日ディスカッションが素晴らしかったと考えます。大きな学会に Kashyap 先生をよんで特別講演して私が座長をする、これを何度もさせていただいてます。今、すこしお年になられました。子供がアメリカ人として2人生まれ、長男が現在九大の循内にいますが、砂川教授に師事して、現在は筒井教授のご指導も受けてます。ちょっと紹介させていただきます。啓太、立って。まだ結婚してませんのでどなたか紹介していただければ幸いです。4年目には二男が生まれました。ロナルド・レーガン大統領の就任式に生まれたので、ロナルドと名前を付けました。そのことを友人が White House に手紙を書いてくれたのですが、すぐにナンシーと私は喜んでいるとの手紙をもらったのが印象的でした。ちょっと紹介します。浩介、お嫁さんの周子ちゃんです。二人とも久留米大学の外科医ですが、ロナルドは心臓血管外科にいます。



4年目に10枚ほど論文がアクセプトされましたが、やはり時間をかける、若い人にいつも言っているのですが、重要なことは勝利感をもって日本に帰ってくる、この感覚がないまま研究は継続できません。当時、ある蛋白の動きをおってまして、全米の高脂血症の患者さんの中からアポC-II欠損症を発見したのですが、当時、radioimmunoassay でもセンスしなかったのですが、anapolipoproteinemia C-IIとなまえをつけ、私の名前を付けて Saku's disease と呼んでます。時々、後輩が R/O Saku'

s disease と紹介してくれますが楽しい時間です。それと HDL の生体でのターンオーバー、心筋梗塞がどのように発生して予防できるのか、そのメカニズムを生体で解明する実験ですが、CLIONFO という病棟でヒト生体での実験をやりました。帰国してからも同じ仕事を継続させていただきました。39歳の時、福岡大学病院の救命センターの教授選挙にでましたが、その時は惨敗したのですが、それが良かった。それからの方向性や自分の考え方を強くしました。これは以前のカテグループの写真ですが、開業されてます今村先生、今、博多駅クリニックの所長をしている仁位教授、済生会の岡部部長、筑紫病院の白井教授です。虚血、心筋梗塞がメインテーマでしたので彼らのサポートのおかげで、いい臨床研究が JACC とか AHA ジャーナルにヒットできたと考えます。私は47歳の時に荒川教授のあとを受けて主任教授に決まりました。当時は若くて、2年くらいは直当もして、一緒に心筋梗塞をみて、そんな時間が大変いいものでした。



せっかくの機会ですので、私が誇る医局員を紹介したいと思います。4月から私の後を継ぐ三浦伸一郎君。ちょっと立って。奥様も立って。オハイオ州のクリーブランドクリニック心臓内科でスタッフをしていましたが、16年前に呼び返しました。臨床と研究、すごくバランスが取れてますが、大学院教育、心臓リハビリの立ち上げ等、優秀な人が後を引き受けてくれました。准教授の小川正浩君、彼もアメリカが長く、メジャーのジャーナルをいくつもヒットしてますが、循環器のデバイスの世界、アブレーションを専門にしています。寄付講座も彼と2つほど獲得しました。それから、准教授の西川宏明君、インターベンションの分野を彼に任じたのです。若いし、今からです。また、張先生、この人とのディスカッションから様々な仮説や学説が生まれました。素晴らしいアカデミアを張先生と作っていただけです。私は大きな医局を目指しましたが、この17年間の間に診療教授3名を含め21名の教授が誕生して、准教授だけでも21名、現在、福岡大学から正式スタッフとしてポジションを得ている医局員が36名います。心臓・血管内科学から他の部署に異動したからです。教育計画部の出石宗仁教授、素晴らしい医学教育の基礎を作ってくださいました。ちょっとご起立いただけますか？福岡大学の医学教育は、模範的な環境で実施しているとの

評価が高いのです。私の初めての助教授の松永教授、臨床検査医学の主任教授になられました。私の最初の医局長の浦田教授、筑紫病院の循環器内科の教授です。病院の臨床研究支援センターの野田教授、福岡大学博多駅クリニックの仁位教授、スポーツ科学部の上原教授、一般には考えられないことですが、そのような中で、様々な研究をしていきました。荒川教授から引き継いだ ARB のバインディングサイトの研究、HDL の研究、FAMP と福岡大学の名前を付けた動脈硬化を退縮させるペプチド、これは松永教授・三浦教授・上原教授がいたからできたものです。HDL 中の蛋白を短くして合成して静脈内に注射すると動脈硬化がなくなる薬です。福岡大学の名前をつけて FAMP と呼んでいます。iCE ペプチドと論文には書いています。ある外国の雑誌が FAMP-TASTIC と紹介してくれたものです。また、様々なニックネームがついた臨床研究をさせていただきました。学位取得が毎年平均して6～7名、大学院生が毎年25名、今年も7名入ってきます。日循 late breaking も毎年私に発表させてくれました。ESC late breaking、これは昨年のローマでの学会、HDL のシンポです。医局員が、私に発表させてくれるわけです。これが10年以上続いています。色々な社会活動もしました。禁煙や心肺蘇生の活動です。すわん君は私の部屋で考えたものですが日循のはじめてのマスコットです。今日は日循の方が来てくれますので、田中さん、小椋さんちょっと立って。禁煙や心肺蘇生の活動を一生懸命応援していただきました。このような中で17年間主任教授をさせていただいたこと心から感謝しています。また、私が大変信頼している秘書さんですが、高木淳子さん、25年位私の秘書をしています。占部かおりちゃん、吉田まりえちゃんです。月曜日から土曜日の2時まで働いてくれます。

学部長をしますと、当然私に優しい方、サポーターな方、これを親潮というようです。また、厳しい方、反潮の先生方もおられます。このような言葉は最近私も聞きました。今日だけは親潮でお願いして、それもあんまり能がないので、今日は皆さま方に、今大変ブレイクしている能作の酒器をお土産にしておりますので、忘れないように持ち帰ってください。

本日は大変ありがとうございました。





1973 ~ 2000



2000 ~ 2017



2017 ~



2017年 朔邸の橙

Pf. 朔 啓二郎 殿

昨日、橙と柚子の写真拝受、どうもありがとう！  
 小生がクローニングして作った柑橘類の中で、初めて  
 実をつけた分身の苗木が、朔君の庭で熟しつつある姿  
 は、三浦君の教授内定と共に、第二内科の血統の伝承  
 を象徴してくれているかの様に思えて、小生、大変嬉  
 しい限りです。いずれにしても僕の後任に朔君・三浦  
 君と続投が自然に生じた事を、小生、誰よりも嬉しく  
 誇りに思っています。

2016.11.23. 荒川 規矩男